

令和3年度 姫路駅周辺・都市型災害対応訓練

1 目的

姫路駅周辺においては、観光客や駅前広場でのイベントなど、今後も多数の集客が見込まれます。

こうした中で、今後発生が予想され、甚大な被害が危惧される地震災害等に対する、初動対応能力の向上を目的としています。

2 日時

令和3年11月9日（火） 10時30分～11時30分（少雨決行）

3 場所

姫路駅北にぎわい交流広場周辺

4 参加車両、人員

消防車両12台 計87人

5 訓練想定

『内陸型地震により、広域的な被害が発生し、姫路駅周辺で災害が同時多発している。』

6 実施内容

- (1) 指令無線中継車（VSAT）を使用した応急無線基地局の開設
- (2) 統括指揮体制の構築（指揮隊2隊による連携）
- (3) 指揮隊による情報通信システム機器等を有効活用した指揮所運営
- (4) 応急救護所の運営（トリアージ及び応急処置等）
- (5) 広域災害救急医療情報システム（EMIS）を活用した医療機関の選定
- (6) 梯子車及びロープ展張による高所救助

7 その他

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小し、消防局のみで訓練を実施いたします。

8 過去の訓練風景

